岩盤柱状図

調査名　小仁方一丁目8地区 急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BP.No.20-2	調査位置	広島県呉市川尻町小仁方一丁目　地内	北緯	34°12'52.9165"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和5年2月21日～令和5年2月24日	東経	132°40'49.9474"
調査業者名		照査技術者		管理技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 29.48 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦DO
総削孔長	4.00 m								エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 % / 最大コア長 cm / RQD % (0 20 40 60 80 100)	記事	地質時代区分	孔内水位 m／測定月日	標準貫入試験 深度-N値 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	削孔月日	削孔速度 cm/h	孔径mm・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/min
	28.68	0.80		礫混じり砂	黄褐							(100)	崩落性の堆積土砂。粗砂を主体とし、30mm以下の小礫を多く混入する。																	
1												(100)	風化に伴い、軟質化が進行する。硬質マサ状を示し、粗砂状～細礫状コアを採取する。部分的に未風化部を玉石状に確認する。				250	1.15 / 1.21	50/60			50/60		60	B2		20	60	-	
2												(100)	深度に伴い、硬質化が進行する。		2/22 無し		93.8	2.15 / 2.31	31	19/60		50/160	2/21							
3												(100)	岩級区分は、DH～CL級を示し、岩質区分は軟岩Ⅰ相当を呈する。				100	3.15 / 3.30	33	17/50		50/150								
4	25.48	4.00		風化花崗閃緑岩	褐灰	w4	h2	E	V	d	DH	(100)					187.5	4.00 / 4.08	50/80			50/80	2/22	150	66	W/MC	20	60	0	8
5																														
6																														
7																														
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														
16																														
17																														
18																														
19																														
20																														
21																														
22																														

株式会社アース開発コンサルタント